

「ユニセフ活動の手引き」の活用法

知る



世界の入り口はテレビや新聞、インターネットなど、身近なところにあります。そして、このユニセフ資料も世界の入り口のひとつです。

- ✓ ユニセフとは? → P.3~4
- ✓ 貸出教材を借りて「体験」してみよう → P.18
- ✓ 世界の子どもたちはどんな危機や困難に直面しているの? → P.5~8
- ✓ ユニセフ資料を取り寄せよう → P.19
- ✓ 世界の子どもの様子、ユニセフの取り組みを見てみよう → 巻末DVD
- ✓ 講師派遣「ユニセフ教室」を活用しよう → P.23

考えたら、さらに知り、 行動してまた考える...

3つの要素を行き来しながら学びが深まっていきます

考える



知ったことや考えたことをみんなで話し合ってみたり、書いてまとめてみたりして考えを深めよう。
そして、自分たちは何ができるか考えてみよう。

- ✓ 疑問をさらに調べてみよう → P.17
- ✓ ユニセフハウス (→ P.21) や地域にあるユニセフ協会 (→ P.30) を訪問して分からなかったことを質問してみよう

行動する



どんなアクションをするか企画したり、計画を立てたりしよう。
決まりごとを守り、人に迷惑をかけない方法を考えよう。

- ✓ 文化祭やバザー、リサイクル活動の機会を生かしてユニセフ募金に協力! → P.9
- ✓ 街頭募金の計画・実施について → P.11
- ✓ 活動を終わってから → P.15

Voice

ユニセフ活動を通して—子どもや先生からの声

小学校



児童より
(沖縄県)

総合的な学習の時間に、ユニセフの資料を使って、世界の子どもの現状を勉強しました。自分たちの募金が世界の子どものために使われると知って、少しでも多く募金が集まるようにがんばりました。**SDGsの目標1「貧困をなくそう」、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」などの達成のために、私たちの募金と気持ちを役立ててください。**

小学校



先生より
(大阪府)

ユニセフDVD教材を児童と共に見て、ユニセフ募金について学習しました。世界には、自分たちよりも幼い子どもが病気に苦しんでいること、教育を受けることのできない子どもがいることに驚き、心で様々な想いを抱きました。「ユニセフの活動について知ってほしい!!」という想いから、児童朝礼や校内放送で呼びかけ、一週間毎日募金活動を行いました。**主体的に活動している姿は、教員も感心するほどでした。**「来年度も活動していきたい」「DVDを全校児童にも見てほしい」と、**児童たちはニコニコで、達成感に満ちていました。**